2024.11月発行　第287号

鶴岡市ボランティアセンターだより

発行・お問合わせ
社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市ボランティアセンター
〒997-0045 鶴岡市西新斎町 14-26
Tel:0235-23-2970　Fax:0235-26-9128
E-mail: shk-vol2@shk01.jp

学校と地域が協力 新たな福祉学習（上郷地区）

現在、鶴岡市内のいくつかの小中学校でもコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が進められています。上郷地区では、その一つの取組として、今年度から上郷小学校と上郷地区自治振興会などが連携して、新たなかたちでの福祉学習をスタートしました。

NPO 法人を講師にユニバーサルデザインを学んだ！

上郷小学校では、昨年度まで３年生から６年生までを対象に、障がいがある人を講師に迎えた学習や高齢者のことを学ぶ学習や体験を行ってきました。今年度は、上郷地区自治振興会、上郷地区担当地域ケア推進担当者、ボランティアセンター等が学校と協力して実施しています。初回は、9/11（水）上郷地区コミュニティセンターを会場にして、障がいや高齢者福祉を学ぶ上で基本となる、ユニバーサルデザインを理解する学習を、４年生と地区住民等を対象にして行いました。講師は、NPO 法人ぼらんたす理事の栗原穂子さん。

※ユニバーサルデザインは、「すべての人のためのデザイン」。年齢や障がいの有無にかかわらず多くの人が利用しやすいようにデザインすること。日用品、飲食物容器、施設、紙幣等、数多くの物や設備に採用されている。

▲コミセン内を探索。「事務室にも入っていいよ～。ユニバーサルデザインがいっぱいあるから」

▲「身近な物にも、いっぱいユニバーサルデザインがあるんだよ」…説明しているのはスタッフになってくれたコミセンの職員！

▲授業参観ではなく、地域の皆さん参加型の福祉学習を行うことができた！

▲「こんなこともあれば使いやすいのになあ！」子どもたちは、ユニバーサルデザインを探すだけでなく、あったらいいなも考えながら館内を回っていた！

「地域支え合いプラン」の策定がきっかけ！

鶴岡地域 21 の各学区・地区社会福祉協議会等が、令和３年度に「地域支え合いプラン」を策定。上郷地区では、「上郷子どもの福祉学習（循環型福祉学習）事業」を盛り込み、子どもたちといっしょに保護者や地域住民も福祉意識を広げることを目標に掲げていたことから、関係する人たちが協議を重ねて今回の取組に繋がりました。

他に、３年生、６年生の福祉学習も地域と連携して実施します。

きこえのバリアフリー教室
聴覚障がいと要約筆記　参加者募集中！

○日　時　2024 年 11 月 24 日（日）13:30～15:30
○会　場　鶴岡市総合保健福祉センターにこ♥ふる３階
○内　容　・講話「難聴と最新の補聴器」 講師秀電社鶴岡店長
・要約筆記を利用するには
・要約筆記のしくみと体験（手書き、パソコン等）
○対　象　関心のある方どなたでも（手話、要約筆記等情報保障あり）
○参加費　２００円（資料代）
○申込み　11/18（月）まで鶴岡市ボランティアセンターへ
電話 0235-23-2970　fax 0 235-26-9128

主催　要約筆記「おひさま」・パソコン要約筆記「はなまる」

鶴岡の牧場でボランティア活動

鶴岡市由良の高台にある**「馬の里森林牧場」**で、牧場の作業や動物たちのお世話をする活動を大学生や高校生等若い人たちが行っています。これからは冬に向かっていくので、ボランティア活動は出来なくなっていきますが、また来春以降、興味がある若い人たちはぜひ体験してみて下さい。

牧場を運営する佐藤さん夫妻は、障がいがある人やお子さんなどを対象に「ホースセラピー」にも取り組んでいます。

お問合せ先　馬の里森林牧場
電話 080-6040-9131（佐藤さん）

「生まれて初めて本物の馬やヤギをみたんです～！」（写真）

山形県内で大きな被害…そして各地で助け合いの輪♡

～令和６年７月大雨災害への対応～

今回の大雨では、鶴岡市を含む県内８市町村で災害ボランティアセンターを設置、他に２市町で設置はしないものの災害支援活動を行いました。甚大な被害があった酒田市では、１１月に入ってから「酒田市被災者生活支援・地域支えあいセンター」に移行し、災害ボランティア活動も継続して実施しています。

※鶴岡市被害件数：計113件（床上浸水１５件、床下浸水９８件）鶴岡市 HP より

宮城県大崎市社協職員が応援に来てくれました

藤島地域で農家が多い地区では小屋や物置等への浸水もありました

藤島地域で床上浸水のお宅から家具や畳等の搬出活動

◀ 鶴岡市内の活動

発災翌日の７月２６日から、床上浸水等の被害があった藤島地域を中心に訪問調査を行い、7月28日に鶴岡市災害ボランティアセンターを設置してボランティア活動に取り組みました。ただし、予想よりもボランティア依頼件数が少なかったこともあり、広くボランティア募集を行わず、発災直後から協力できると連絡を頂いた多くの企業、団体、個人登録者、被災地の町内会長、行政等の各部署のご協力により活動を行うことができました。

活動日数７日、件数11件、ボランティア人数65人（延）
活動内容：家財道具･畳等搬出、集積所へ運搬、清掃等

他市町村での活動 ▶

当初は、鶴岡市内の被災地への対応が続いていたため近隣市町村の被災地への「ボランティアバス運行」は庄内町１回、酒田市１回のみの実施でした。ただ、多くの鶴岡の方々が各被災地へ直接申し込んで活動してくれていたことには心より感謝をしております。９月以降は、ボランティアセンター登録者等に声をかけさせていただき、他市町村での活動を行うことができました。（庄内町１回、戸沢村3回、酒田市５回）

活動日数９日、ボランティア人数67人（延）
活動内容：土砂搬出、家財道具畳等搬出、運搬、清掃等

庄内町で被災地区や町ボラ連協の方々と一緒に活動

戸沢村の皆さんとボランティアの皆さん

酒田市で作業後鶴岡チームによる資機材やダンプの洗浄作業

この日酒田市で活動したボランティア鶴岡チームの皆さん

▼社会福祉法人の公益的取組として被災地へ

鶴岡市内９つの社会福祉法人で組織している鶴岡地区特養連絡協議会では、毎年、公益的取組として生活困窮世帯支援のために「フードドライブ」に取り組んでいます。今回は、大雨災害の被災地でのボランティア活動を計画。10月29日（火）に酒田市で家財道具搬出や清掃等の作業を行ってきました。初めて被災地に行ったメンバーは甚大な被害に驚き、被災したお宅でねぎらいと励ましの気持ちを込めて優しい声をかけておりました。今後も、同協議会の社会福祉法人連携による地域貢献活動に期待しています。

鶴岡のメンバーと県外からのボランティアやスタッフの皆さん

酒田市で廃棄物集積所への運搬活動

◆このたびの大雨災害での活動や、寄附、炊き出し、職員応援派遣等をまとめた記録を鶴岡市社会福祉協議会ホームページに掲載しています。

映画と福祉と商店街コラボ 「山王キネまち大学 2024」

鶴岡まちなかキネマで12月に予定

・上映映画 『有り、触れた、未来』
東日本大震災の体験記「活かされて生きる･震災を語り継ぐ」が映画化
上映期間 12/14（土）～12/22（日）

・トークイベントと防災ワークショップ **鶴岡の高校生、監督、俳優等が出演予定**
12/21（土）13:30～ **当日のみ高校生以下無料、大人1,000円**

・問合せ先 鶴岡まちなかキネマ （電話0235-64-1441）

外国人支援者向け防災セミナー開催

10 月 27 日（日）出羽庄内国際村、三川町の県防災学習館を会場に、鶴岡に住む外国人や日本語ボランティア等約 70 人が参加して開催されました。NPO 法人鶴岡災害ボランティアネットワーク、ボランティアセンターも協力をして、災害が発生した時に外国人は何に困り、必要な支援はどんなことか等を共有する機会になりました。参加者からはお祈りできる場所が必要という声も多く出されました。

≪**らくがき**≫ ボランティアセンターが、5/20に西新斎町の鶴岡ふれあいプラザかたりあいに移転しました。よろしくお願いします（H）